

Daily Macro Economic Insights

景気動向指数(2025年6月速報)

2025年8月8日

一致指数の判断は「下げ止まり」が続くが、先行きは要警戒

6月CI一致指数は生産や出荷の改善により増加

内閣府から2025年6月の景気動向指数が公表された。6月のCI速報値(2020年=100)は先行指数106.1、一致指数116.8、遅行指数112.0となった。先行指数は5月から1.3ポイント上昇し2か月連続の上昇、一致指数は5月から0.8ポイント上昇して2か月ぶりの上昇、遅行指数は5月から1.5ポイント下降して4か月ぶりの下降となった。一時的要因による振れの影響を除くため、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均の前月差をみると、CI一致指数の3か月後方移動平均は0.34ポイント上昇して4か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は0.23ポイント上昇し、11か月連続の上昇となった。今回の結果を受けて、CI一致指数から機械的に導かれる基調判断は「下げ止まりを示している」と維持された。5月速報段階では「悪化」となっていたが、確報段階で上方修正され、6月も「下げ止まり」で維持という形だ。

図表1は一致指数の前月差と一致指数を構成する各指標の寄与度をみている。6月の前月差はプラスとなった。プラスとなったのは、一致指数を構成する10指標のうち生産指数、投資財出荷指数、商業販売額(卸売業)、営業利益(全産業)が増加したことが影響している。なお生産財出荷指数、耐久消費財出荷指数、有効求人倍率は悪化した。トランプ関税の影響が今後本格化していく中、特に鉱工業生産の改善が続くかどうかは予断を許さない状況である。今後も引き続き注意が必要だ。

図表1: 一致指数の推移とその内訳

		一致指数		生産指数 (鉱工業)	鉱工業用 生産財出 荷指数	耐久消費 財出荷指 数	労働投入 量指数(調 査産業計)	投資財出 荷指数(除 輸送機械)	商業販売 額(小売業)	商業販売 額(卸売業)	営業利益 (全産業)	有効求人 倍率(除学 卒)	輸出数量 指数
		指数	前月差	前月差の 寄与度									
2023年	2	114.5	1.60	0.45	0.33	0.15	-0.06	0.42	0.24	0.09	0.13	-0.24	0.12
	3	114.6	0.10	0.06	-0.06	0.28	0.08	-0.05	-0.04	-0.12	0.13	-0.10	-0.07
	4	114.6	0.00	0.04	-0.08	0.10	0.00	-0.10	-0.18	-0.12	0.12	0.03	0.20
	5	115.2	0.60	-0.14	-0.09	0.20	0.22	0.04	0.07	0.13	0.12	0.03	0.04
	6	115.1	-0.10	0.12	0.16	-0.05	-0.16	-0.05	-0.02	-0.23	0.12	-0.10	0.05
	7	115.0	-0.10	-0.20	-0.12	-0.23	-0.08	-0.24	0.15	0.09	0.38	-0.09	0.26
	8	115.3	0.30	-0.05	0.18	0.04	0.10	-0.01	0.00	0.05	0.37	0.04	-0.41
	9	115.9	0.60	0.02	0.02	0.05	-0.04	-0.08	-0.08	-0.04	0.36	0.05	0.28
	10	115.7	-0.20	0.16	-0.08	-0.06	0.08	0.09	-0.22	0.09	-0.07	-0.09	-0.07
	11	114.9	-0.80	-0.08	0.07	0.05	-0.08	-0.13	0.14	-0.10	-0.07	-0.22	-0.45
	12	115.9	1.00	0.16	0.02	0.12	0.14	0.45	-0.31	0.06	-0.07	0.05	0.44
2024年	1	113.0	-2.90	-0.62	-0.59	-0.77	-0.40	-0.48	-0.03	0.05	0.09	0.05	-0.26
	2	112.7	-0.30	0.05	-0.24	-0.17	0.24	-0.18	0.26	0.17	0.09	-0.08	-0.36
	3	113.8	1.10	0.47	0.21	0.21	-0.04	0.30	-0.32	-0.27	0.09	0.18	0.25
	4	114.5	0.70	-0.08	-0.05	0.12	-0.04	-0.04	0.09	0.53	0.21	-0.08	0.04
	5	115.5	1.00	0.15	0.36	0.21	0.28	-0.06	0.08	0.14	0.21	-0.08	-0.29
	6	114.5	-1.00	-0.16	-0.33	-0.04	-0.18	-0.30	0.10	-0.40	0.21	-0.08	0.13
	7	115.6	1.10	0.25	0.22	-0.04	-0.02	0.11	-0.11	0.59	-0.10	0.18	0.05
	8	114.0	-1.60	-0.27	-0.39	-0.07	0.06	-0.14	0.04	-0.54	-0.10	-0.08	-0.08
	9	114.4	0.40	0.10	0.32	0.21	-0.14	-0.11	-0.25	-0.08	-0.10	0.18	0.26
	10	115.9	1.50	0.24	-0.12	0.23	0.18	0.38	0.06	0.34	0.22	0.05	-0.11
	11	115.2	-0.70	-0.23	-0.17	-0.17	-0.06	-0.09	0.16	-0.09	0.21	0.04	-0.23
	12	116.4	1.20	-0.04	0.09	0.04	0.08	0.09	0.07	0.00	0.21	0.04	0.53
2025年	1	116.3	-0.10	-0.15	0.36	0.16	-0.18	-0.39	0.10	0.24	0.10	0.16	-0.42
	2	117.1	0.80	0.32	-0.01	0.16	0.10	0.49	-0.32	-0.36	0.10	-0.25	0.51
	3	115.8	-1.30	0.03	-0.45	-0.56	-0.41	-0.26	0.19	0.11	0.10	0.28	-0.26
	4	116.0	0.20	-0.17	0.23	0.24	0.26	-0.29	0.05	-0.14	0.16	-0.02	-0.19
	5	116.0	0.00	-0.03	-0.17	0.18	0.20	0.42	-0.18	-0.19	0.19	-0.34	-0.02
	6	116.8	0.80	0.27	-0.19	-0.18	0.01	0.26	0.01	0.25	0.20	-0.38	0.49

出所: 内閣府より筆者作成。

6月の先行指数は5月に続き1.3ポイント上昇した。2020年4月以来の大幅減となった4月からやや戻した格好である。株価、マネー、商品価格といった資産市場の改善は続いているが、新規求人数や機械受注、中小企業売上見通しDIといった企業周りへの悪影響は残っている。現状は図表2のとおり、先行指数の3か月後方移動平均、7か月後方移動平均は下落トレンドが明確となっている状況は変わっていない。引き続き先行指数の増加が続くことが必要である。

(PwC Intelligence チーフエコノミスト、上席執行役員 片岡 剛士)

景気後退期 (2015年=100)

CI先行指数(①)

①の3か月後方移動平均(②)

①の7か月後方移動平均(③)

106.6

106.1

105.0

120

115

110

105

100

95

90

85

1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4 7 10 1 4

2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

CI先行指数6か月前比 (Left Axis, %)

DI一致指数(右軸) (Right Axis, %)

2021 2022 2023 2024 2025

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

© 2025 PwC Consulting LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.
This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.